

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

「1 自己評価及び外部評価結果」を評価機関から受領した時点で、3「サービス評価の実施と活用状況(振り返り)」と併せて作成します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	あすなるの会の理念に基づいて、南陽の理念をもう一度振り返り検討が必要。	グループホームあすなる南陽の理念を作成する。	3月までに振り返り、新年度より、実践できるよう試みる	4ヶ月
2	10	グループホームらしい日々の過ごしを常に心がけていく必要あり、一人ひとりの思いの把握を行い、ケアプラン作成する。	一人ひとりにあった日課を見直し、ケアプランを基に実行できる。	ケアプランの見直しと実行(実践できる内容を吟味し、具体的な記載をして個人の介護計画書を作成し、来年の1月より、開始できる様に取り組む。	6ヶ月
3		各様式を3施設統一する事で同じ視点で問題に取り組む事が必要。	3施設(GH)の書式の統をと実践し、振り返りながら勧めていく。		3ヶ月
4	15	カロリーオーバーで肥満傾向にある利用者が多い。	献立を作成する際カロリーも加味し、バランスの取れた食品を選択できる。	12月より、配属される管理栄養士のもと、カロリー、メニューなど改善していく。	6ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。なお、挿入した際は、印字状態を必ず確認して下さい。